



寺 101  
清 1  
宝小 58-2663

住 所 東京都あきる野市小川一〇一  
電話 〇四二五五八二六六三  
管理 〇四二五五八二六九三  
住 職 石井 前 瑠璃  
寺務所 所長 伊藤 勝之

道念仏、関西では、京都府から兵庫県にかけ、日の動きにつれて東から西へ社寺を巡拝して歩く、日の伴、日送り、日迎え、という行事が残っていたと言います。更に日の願いという言葉があり、日願となつて、彼岸となつたという説もあります。およそ日本人なら、たとえ、海に沈む夕映えの光景を美しいと思わない人はいないでしょう。その夕映えの光に満ちた彼方こそ極楽浄土にあさわしいと仏教者は考えたのです。ちなみに、西方極楽浄土の仏である阿彌陀如来をアマターバと呼びます。アマターバは無量光、限りなき光を意味します。現在では、彼岸は亡き先祖に感謝しその霊を慰め自分も身を慎み仏とともに生きることによつて、よりよき人となり、あわせて極楽往生を願う仏教行事であると理解されています。彼岸には墓地を清掃し墓参し御先祖の霊をお慰め感謝しましょう。

☆九月十二日は御難会と言つて、日蓮聖人が二度目の幕府への諫言により、鎌倉の竜ノ口にて斬首刑に処せられると言ふ謀略に遭いますが、法華経の行者を守護する普神のわざでしようか、突然、光ものがれて役人の刀は三つに折れ、奇跡的にその刑を免れました。この一二七一年九月十二日に遭われた竜ノ口の法難にちなみ、各寺院で御難会の法要が厳修されます。当山では、お題目講の方を中心に夕方の法要の後、ぼた餅を食べ日蓮聖人を偲んでいます。

### お彼岸 (二十日～二十六日)

#### 日本独自の「お彼岸」

日本には様々な仏教行事があり、国民の間に定着していますが、その中で国民の祝日に定められているのは「春分の日」と「秋分の日」のみです。「春分の日」は「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」、「秋分の日」は祖先を敬い、亡き人をしのぶ日」とされています。お彼岸は、正月やお盆と同じように毎年かならずくる国民的行事なのです。ここで重要なのは、これが仏教行事だということです。そして、注目すべきはこの行事が日本独自のものであることです。平安時代には、すでに行われていたことが、「源氏物語」の記述にあります。江戸時代になると、日本古来の祖霊信

#### ☆☆☆鐘樓様、信託使△△△船庫付帯設備

任 意 委 託 付 中 間 報 告 出 口 ☆☆☆

仰と習合し民衆の間に浸透していったとされています。お彼岸の歴史をたどってみるとわかることは、この行事の始まりは太陽信仰と関係の深いことが分かります。古来、日本人は農耕をなすの中心として生きてきた民族です。言い換えれば自然とのかわりの中で生きてきた民族といえます。花鳥風月、という言葉の中に日本人の心が集約されているものと思えます。そのような民族にとつて、最も大切なことは季節です。季節の移り変わりの中心は太陽です。だとしたら太陽、すなわち、日に対する人々の願いは、特別のものであつたに違いありません。実際、農耕と関係の深い彼岸行事が各地に残っています。関東地方を中心とした、太陽(お天道様)を拝む天

尚、お彼岸のお塔婆のお申込は、同封の葉書をご利用下さい。同封の葉書は料金受取人払いで、寺に配達されるまで四日かかりますので、お塔婆をお申込の方は早めに投函するようお願い致します。

☆九月十二日は御難会と言つて、日蓮聖人が二度目の幕府への諫言により、鎌倉の竜ノ口にて斬首刑に処せられると言ふ謀略に遭いますが、法華経の行者を守護する普神のわざでしようか、突然、光ものがれて役人の刀は三つに折れ、奇跡的にその刑を免れました。この一二七一年九月十二日に遭われた竜ノ口の法難にちなみ、各寺院で御難会の法要が厳修されます。当山では、お題目講の方を中心に夕方の法要の後、ぼた餅を食べ日蓮聖人を偲んでいます。

今回は仏教ゆかりの食物の七回目として、「そば」について紹介致します。そばは日本の代表的な伝統食品ですが、消化はよさそうだがそれほど、栄養価は高そうに見えない。しかし、みかけと違い、薬効がすぐれており、身体にやさしい食品なのです。そばにはルチン(ビタミンP)という物質が含まれており、血管を強くし、脳出血などを予防する働きがあります。古来、仏教修行の行者は、豆粉やそば粉をもちたといわ粉を熱湯で練として食するとして食する

現在、信託使△△△船庫付帯設備の多摩建設事務所との最終の打ち合わせの段階を迎え、着工も間近と成りました。任意寄付の納入期限は平成九年三月末日となつており、期間は十分あります。今日の厳しい社会情勢を思うと、大変心苦しいのですが、一件でも多くの方々の気持により「鐘樓」を完成させ「信託使船庫」の付帯設備の充実をはかりたいと切望しておりますので、今後ともよろしくお願ひ申しあげます。

日蓮聖人は、弘安五年(一二八二年)十月十三日、午前八時ごろ、信徒の池上宗仲邸にて六十一歳の一生を閉じられました。この折、いつせいに邸前の桜の花が咲いたといわれ、万灯はこのいわれにもとつてお会式(報恩会式)のときに供養されます。日本第一の法華経の行者、み仏の使いとして、この日本国の過ちを正し、いつさいの人々を法華経の道に導き救済する為に身を命をささげた日蓮聖人の広大な徳をほめたたえ、その教えをうけついでゆく誓いをこめ報恩感謝のまことをつくす日です。日蓮宗の各寺院でお会式が営まれます。

御 來る十月十二日は、宗祖日蓮聖人のご命日のご法要を営む、御会式です。当山では、当日午後二時と七時の二回法要を厳修致します。詳細は葉書にてお知らせ致します。

御 入はなるべく指定の振込用紙をご利用下さい。

★募参用お花線香★ (二十日～二十六日) お花一束 七〇〇円 お線香 一〇〇〇円